

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）が削減 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の整備により狭小幅員が解消され、交通の円滑化が図られた。 【渋滞損失時間の変化】（当該路線）：58.7千人・時間/年（削減率）約5割削減 ●新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果 <ul style="list-style-type: none"> ・当該道路に面して整備されH8年に登録された道の駅とのアクセスが向上した。 【道の駅利用者数】整備前：249千人（H9）→整備後：659千人（H18） ●農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・十勝地域の農産品や釧路方面の水産品の札幌、苫小牧方面への輸送における安全性、確実性が向上した。 ●対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減量 410t-CO2/年 <p style="text-align: right;">他5項目について効果の発現が見られる</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価、対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口・産業等の社会経済情勢の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・旧日高町において、人口は減少している。（値は、合併前の旧日高町のもの） 人口 2,451人（H8住民基本台帳） → 2,053人（H17住民基本台帳） ・日高町における観光入込客数は、増加している。（値は、合併前の旧日高町のもの） 観光入込客数 451千人（H9北海道観光入込客数調査） → 654千人（H17北海道観光入込客数調査）
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>日高市街の整備により、交通混雑の緩和や旅行速度・安全性の向上、物流の効率化など、整備に伴う効果が発現されている。よって、今後の事後評価の必要性はない。</p> <p>また、改善措置の必要性はないが、今後も利用しやすい道路環境の確保に努め、適切な維持管理を実施し、そのコスト縮減に努める。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特に同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。